



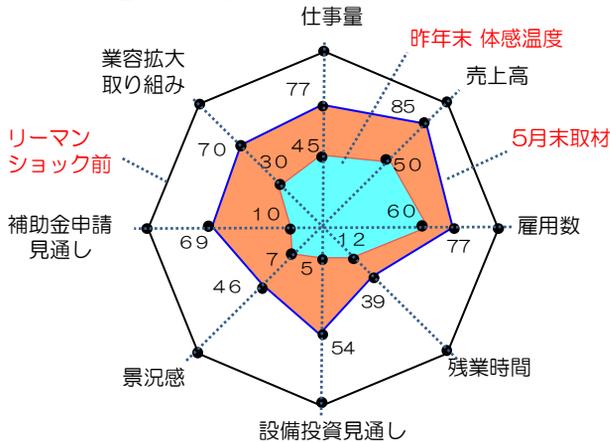
ものづくり 広報

市内中小企業最前線レポート

連日のように新聞紙上をにぎわす「アベノミクス」の文字。メディアが伝える景況感がどれだけ市内の中小企業の現場に押し寄せているのか。実体経済として現場ではどのような変化を見せているのか。市内の中小企業の経営者に取材した結果をお伝えします。

当センターの平成24年度支援企業の中から、13社を対象に聞き取り調査を実施。取材期間は平成25年5月29日～6月7日

取材結果(単位%)



取材の結果、現在の景況感、経済状況に対して、「少なくとも世の中は動き出した」と、経営者は期待先行の概ね良い兆候と受け止めています。

そして、その良い兆候の根底にあるのが、「逆境で心が折れそうな今こそチャンス」と前向きに工夫と努力を重ねる企業の姿勢です。具体的には、ムダを徹底して落とすことから始まり、持てる技術をさらに磨く、営業拠点を積極的に展開する、設備への先行投資を図るなど、多くのヒントを聞くことができました。

○仕事量・雇用

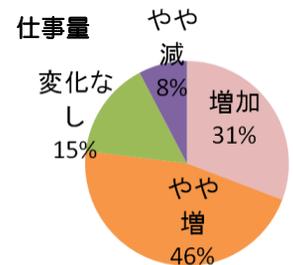
昨年末に比べて、やや増も含めて約8割の企業が増加と回答。これに伴い、売上高・雇用状況ともに改善の兆しが見られます。ただし、この状況は独自技術の深化や海外展開による事業拡大など、今まで仕込んできた企業努力が芽を出した結果と経営者は捉えています。

○景気見通し・設備投資

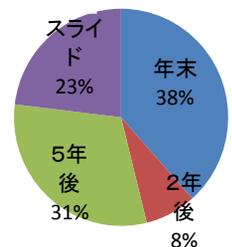
景気の見通しについては、「年末・2年後」と「5年後・スライド」でほぼ半分ずつと見方が分かれました。その中、建設・建具企業の間では、公共投資に大きな期待感が見られます。また、設備投資についても積極派と慎重派が半分ずつに分かれる結果となり、積極派は海外進出や独自技術の拠点拡大の先行投資が目立ちます。

○業容拡大・補助金活用

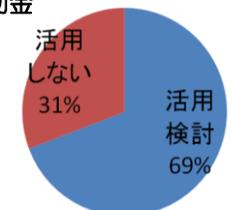
業容拡大の準備を進めている企業が9社、本業を充実させる企業が4社ありました。多くの企業で市場の変化の先取りを意識している様子が窺われます。補助金については、約7割の企業が利用したいと考えており、業容拡大のきっかけとして補助金申請を行っている企業も目立ちます。



景気見通し



補助金



大輪の花を咲かせるには、その裏側で種まきから始まり毎日の水やりに至るまで、地道な取り組みが必要です。まさしく、ものづくりの現場にも同じことがいえます。今回の取材を通じて、こうした日々の地道な取り組みが「元気な企業」「元気な鈴鹿」を形成していると改めて感じる事ができました。

◆若社長紹介

代表取締役 高橋篤史 39才 尊敬する人：佐藤自社会長

2Rモータースポーツに惚れ込み、SUZUKAはレースの聖地、「野球で言えば甲子園」と同じと、卒業後大阪から現在の会社に飛び込んだ。好きなレース活動を通して、厳しさの中に『楽しくカッコよくそして安全に！』の哲学を身に付けた。オートバイ パーツメーカーとして若者に人気のある会社だが、夢は大きくアジア進出、開発 製造 販売までの一貫メーカーになりたい。さらに2Rレース界でTOPメーカーとなると力強く語った。

そのためにも会長が日ごろ言う「ワッシャー1枚の重さ」「1円の大切さ」を胸に、2年前から従業員21人の先頭に立ち指揮を執っている。従業員のモチベーションを上げるためにも、1回/2年の海外旅行はどんなことをしても続けたい。人中心の経営スタイルを工夫し、他社と違った形で実現しているところに大変好感が持てた。



代表取締役 高橋篤史さん

オートバイ パーツメーカー
住所 鈴鹿市国府町7678-5
TEL 059-379-0037
FAX 059-378-4253
Eメール kaihatsu@over.co.jp

◆活動事例紹介

○テーマ：「2S3定」の職場環境づくり

○企業名：林建材株式会社 ○担当支援者：岩波アドバイザー

企業経営は「入を増やして出を制す」。その出を制するのがムダ取りです。林建材(株)では、企業体質強化を図るためムダ取りを行いました。ムダ取りする職場環境をつくるには、整理整頓が大前提です。そのための手段として、全職場で『2S3定活動』を実施しました。



改善前 (同じ物がいくつもある)

- 3定 { 定品：決まった物を
- 定量：決まった量 (1つだけ・・・ワンベストが重要)
- 定位置：決まった位置に置く

その結果、接客対応にムダがなくなり、タイミングの良い接客と共に、デスクスペースの有効活用という成果を生み出しました。

『2S3定活動』を全員で実施した結果、大きなムダが取れ、従業員からは「職場環境が良くなり、仕事がやりやすくなった」との声が聞かれるなど、職場風土の変化も大きな成果となりました。



改善後
(姿彫りにより3定がされている)

◆ものづくり産業支援センター 「巡回グループ」の業務をご紹介します

企業現場に直接お伺いし、企業が抱える困りごとや悩みごと、ニーズなどを直接お聴きし、その中から支援メニューへとつながる案件を掘り起こすことを主な目的として活動しています。まさしくセンターにとっての機関車的な役割を担っています。自ら「動く」ことを行動理念として掲げるセンターにとって、企業訪問は生命線となる活動です。現場に赴くことで初めて分かる企業の生の声を、今後も大切にしていきたいと考えます。

今年度は、より一層きめ細かな巡回とするため、今までの3班体制から1班増加の4班で訪問していま



巡回訪問の様子

平成24年度巡回グループ活動実績

各班	年間計画	巡回実績	
		実績	新規訪問
1班	120	174	50
2班	120	144	10
3班	120	148	12
合計	360	466	72

単位：件

す。皆様の現場にお伺いした際には、気軽に声を掛けてくださいますようお願いいたします。

【平成24年度センターの支援活動実績】

- 1) 支援活用・・・101件
- 2) 市役所市民ロビー展示・・・22件
- 3) 中小企業従業員人材育成・・・33件